

溶接学会 若手会員の会



若手会員の会 活動報告

HP アドレス <https://jweld.jp/support/wakate-welnet/>E-mail アドレス welnet@mlist.ne.jp

2023 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告および 溶接学会若手会員の会 第 68 回運営委員会開催報告

副委員長 田中 大輝 (東芝エネルギーシステムズ株式会社)

山下 正太郎 (大阪大学)

全国大会イベント担当 三輪 剛士 (株式会社神戸製鋼所)

浅山 智也 (株式会社ダイヘン)

松田 朋己 (大阪大学)

Reports of WELNET evening forum at JWS national meeting in Spring 2023 and
the 68th meeting of WELNET steering committee

by TANAKA Daiki, YAMASHITA Shotaro,

MIWA Tsuyoshi, ASAYAMA Tomoya, and MATSUDA Tomoki

【2023 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告】

4 月 27 日 (木), 2023 年度春季全国大会において若手会員の会イブニングフォーラムが開催されました。今回は「ニーズ/シーズのマッチング」について、産学官にてご活躍中の 6 名の若手研究者・技術者の方々にご講演いただきました。

プログラム:

1. 開会の挨拶 溶接学会若手会員の会委員長
東北大学 鴫田 駿 氏
2. 講演者によるショートプレゼンテーション
3. リアルタイムオンラインポスターセッション
「難接合継手を対象とする, 新接合プロセスおよび機器の開発」 株式会社ダイヘン 浅山 智也 氏
「大規模地震を想定したガスパイプライン周溶接部の構造健全性評価」 東京ガス株式会社 小貫 翔馬 氏
「シミュレーションベース階層的破壊評価・材料設計手法の構築」 大阪大学 庄司 博人 氏
「複動式摩擦攪拌点接合を用いた異種金属接合法の開発」 川崎重工業株式会社 武岡正樹 氏

「EBSD 法を用いた超音波接合部の組織解析」

東北大学 鴫田 駿 氏

「鋼製水冷ツールを用いた鉄鋼材料の摩擦攪拌接合」

大阪大学 三浦 拓也 氏

4. 全体での意見交換

オンライン開催形式である春季全国大会に合わせて、カンファレンスツールを活用したリアルタイムでのオンラインポスターセッションを行いました。研究者ならびに技術者では研究に対する考え方や背景の違いによって「シーズ・ニーズ」には少なからず溝がありますが、本ポスターセッションでは、各々の研究者・技術者のニーズ・シーズ発表に対して、研究者ならではの意見や技術者ならではの意見を気兼ねなく出し合えるような雰囲気での議論が行われました。

その後の全体での意見交換においても、このようなオンラインでのセッション開催やその他イベントなどについて活発な議論が行われ、当初の予定時間を超過した頃に本イブニングフォーラムは無事終了となりました。

今回の秋季溶接学会でのイブニングフォーラムにおいても若手研究者・技術者の方々の活発な議論の場を設けたいと考えております。

最後に、今回のフォーラムは若手会員に加えて一般参加者の方々にもご参加頂き、多くの議論を交えて終えることができました。講演を快くお引き受けくださいました6名のご発表者の皆様方に心より御礼申し上げますとともに、ご参加者の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

【溶接学会若手会員の会第68回運営委員会開催報告】

溶接学会若手会員の会 運営委員会は、全国大会期間中に開催される若手会員の会の活動計画や今後の展望を討議するための2回/年の若手により構成されたディスカッションの場である。2023年度春季全国大会が、オンラインで開催され、それに合わせ以下の日時で第68回運営委員会を開いた。溶接学会に参加している若手の技術者・研究者には今後の運営委員会に奮ってご参加いただきたい。

日時：2023年4月28日（金） 10:00～11:00

場所：オンライン開催（Microsoft Teams）

出席者：

鴫田（東北大学）、山下正太郎（大阪大学）、田中大輝（東芝エネルギーシステムズ）、松田（大阪大学）、三輪（神戸製鋼所）、浅山（ダイヘン）、山本（大阪大学）、田中慶吾（大阪産業技術研究所）、山下享介（大阪大学）、瀧田（秋田県産業技術センター）、古免（大阪大学）、庄司（大阪大学）、伊與田（大阪工業大学）、尾崎（三重大学）、島田（福岡県工業技術センター）、崔（広島大学）、真中（新居浜工業高等専門学校）、野々村（IHI）、東（鹿児島高等専門学校）、森田（IHI）、三浦（大阪大学）、浅間（三菱電機）、波多野（川崎重工業）、村上（大阪大学）、成田（名古屋工業大学）

出席者：26名、委任：9名（運営委員総数：40名）

資料：

welnet 68-0 議案

welnet 68-1 第67回運営委員会議事録（案）

welnet 68-2 2022年度活動報告・2023年度活動報告

welnet 68-3 会計報告

welnet 68-4 全国大会関係

welnet 68-5 編集関係

welnet 68-6 広報・ML関係

welnet 68-7 研究会・施設見学会関係

welnet 68-8 出前講義関係

welnet 68-9 グローバルネットワーク活動関係

【審議・報告事項】

議事に先立ち、鴫田委員長より挨拶を頂いた。その後、若手会員の会運営委員会のメンバーより自己紹介頂いた。本委員会より浅山様（㈱ダイヘン）、森田様（㈱IHI）、成田様（名古屋工業大学）の3名が新たにメンバーに加わった。

1. 第67回溶接学会若手の会 運営委員会議事録の確認・承認

welnet 68-1に基づき第67回溶接学会若手の会運営委員会議事録（案）について報告された。本議事録案はその後の決議により承認された。

2. 2022年度活動報告・2023年度活動計画

welnet 68-2に基づき2022年度活動報告・2023年度活動計画について報告された。2022年度はコロナ感染状況が緩和したことで対面での運営員会や研究会・施設見学会が開催され、IIWではグローバルネットワーク活動も企画された。2023年度は4/27にイブニングフォーラムが開催され、出前講義の再開やグローバルネットワーク活動の一環として国際会議参加助成が提案された。

3. 会計報告

welnet 68-3に基づき2022年度の会計状況と2023年度の予算について報告され、本委員会で承認された。2022年度は対面での活動が増加傾向ではあったが支出は少ない状況であった。また、2023年度からグローバルネットワーク活動費に国際会議助成予算が付与されたため、本予算を活用した活発な国際会議への参加を推進することが可能となった。

4. 全国大会関係

welnet 68-4に基づき2023年度の春季イブニングフォーラムと秋季全国ポスターセッションについて報告された。4/27に開催された春季イブニングフォーラムでは6名の発表者により活発な議論が行われた。一方で、昨年度に比べて参加人数が減少したことから、その対策としてwelnet登録者であれば全国大会に申し込んでいない場合でもイブニングフォーラムに参加可能とすることが提案された。また、秋季ポスターセッションでは会場の都合で発表者を40名程度に制限する必要がある、今後詳細を検討することが報告された。

5. 編集関係

welnet 68-5に基づき溶接学会誌における若手会員の会担当ページの状況について報告及び執筆に関する協力が依頼された。92巻分の執筆依頼は完了し、今後93巻分の執筆依頼を行うこと、93巻分の特集記事には若手会員の会の担当ページがないことが報告された。また、グローバルネットワーク活動の国際会議助成を受けた方にじょうほう通への執筆を依頼することを共有した。

6. 広報・ML関係

welnet 68-6に基づき若手会員の会ホームページの紹介とメーリングリストの配信状況について報告された。若手会員の会のホームページはテストページが完成し、イベントや申請フォーム、メンバーリストなどが閲覧できることを確認した。

7. 研究会・施設見学会関係

welnet 68-7 に基づき研究会と施設見学会について報告された。2023/3/10 の第2回研究会ではオンラインで3名が発表して技術者同士の交流を図ることができた。2023年度の研究会・施設見学会は3回の開催が予定されており、施設見学会として宮城県を検討中であることが報告された。また、コロナ感染状況が緩和したことから懇親会は開催する方針とすることが提案された。

8. 出前講義関連

welnet 68-8 に基づき出前講義について報告された。これまではコロナ感染状況を考慮して出前講義を自粛してきたが、今後は年2回を目標として積極的に活動することとした。講義用の資料や旅費については若手会員の会から提供可能なため、希望者は鴫田または山下（正）まで申し出るよう連絡した。

9. グローバルネットワーク活動

welnet 68-9 に基づきグローバルネットワーク活動について報告された。2023年度からグローバルネットワーク活動の予算を活用して若手会員の国際会議への参加費を助成するため、運営委員会で助成の可否を審議した。4/20までに3件が申請され、本運営員会で全件承認された。また、今後は申請用紙に「他財源から参加費を受け取らないことを了承する」ことをチェックボックス等で明記することが提案された。

以上